

能生中学校だより



三 一 鉢

能生中学校ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

令和6年3月22日

NO. 11

糸魚川市立能生中学校

〒949-1352 能生2643

☎025-566-2065



第32回卒業証書授与式 式辞

校長 吉田 和則

雪が路面を覆う日ははるかに少なかった冬を経て、全校生徒で取り組んだ花いっぱい運動のチューリップが背丈を伸ばし花芽を抱く、暖かな春の訪れを感じられる日々となりました。

この佳き日に、糸魚川市議会議長 松尾徹郎様、能生中学校後援会長 大矢 弘様をはじめ、多くのご来賓のご臨席のもと、五年ぶりに規制のない、第三十二回卒業証書授与式が挙行できますことを心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

当校では計画した通りに卒業証書授与式を迎えられましたが、今年元日に発災した能登半島地震では、二か月たった今でも、一万人以上の方々が避難所で生活されています。県内でも三年間の思い出多き学び舎で式を迎えられない中学生も多くいます。一日でも早く、被災された皆様に平穏な日々の生活が戻られることお祈りいたします。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様の立派に成長された姿を前にして、大きな喜びを感じられていることと思います。また、これまで、当校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの門出の日を飾る会場の花たちは、今年もまた、買いそろえたものは一つもなく、皆さんの尊い意志を受け継いだ後輩たちや教職員が手をかけた花々です。「花街プロジェクト」で地域に笑顔送ったブランターの花々や校内を彩っていた花々から、差し芽をして世話をし育て、花を咲かせたものです。ステージを飾る桜は、皆さんの教室から見えた冬の厳しい寒さに蕾をかたくしていた、あの桜です。管理員さんが準備してくださり、先生方が休日や早朝から温度管理に気を配り、今、咲き誇っています。皆さんを愛する仲間たちの思いの表れで会場を飾ることができたことをうれしく思っています。

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の中、小学校の卒業や中学校入学を迎えた皆さん。そのような中でも、人との絆を大切に、他の人を思いやり、違う考えも尊重できたりする人間関係を作り上げてくれました。

先輩たちと共に創立三十周年を自ら祝い、SNGs活動をスタートした一年生時。生徒会活動の礎となり、先輩となった今でも、背中で後輩たちに語っている『先手挨拶』、『心地よい反応』、『満点学習』、『感謝の連鎖』、『地域に貢献』の教えは、自分で選択していくこれからの人生の中でもきっと、皆さんを助けてくれることでしょう。

やらない選択からどうすればできるかを考えて動き出した二年生。体育祭の春開催という大きな変動も先輩を支え、後輩の良き手本となって大成功に終わらせました。大きな自信となったことでしょう。関西方面を訪れた修学旅行では、歴史の中心となった都の、繁栄を極めた文化に触れ、より郷土糸魚川を見つめ直すきっかけとなったことでしょう。積極的に活動する頼もしい姿。貴重な経験を積み重ね、多くの知識を身に付けていきました。



そして、三年生。『繋進』をスローガンに掲げ、新たな挑戦を繰り広げてきた生徒会活動の原動力として活躍しました。「一人の百歩より百人の一步」を合言葉に、他人ごとから自分ごとにものごとを捉え、主体的に活動に取り組んできました。その思いが体育祭や音楽祭の大成功へと繋がっていきました。日々の活動でも、県で勝負を目指した部活動や活動の活性化を進めた専門委員会活動で、ただ、漠然と現状を維持するのではなく、意義を考えたり、皆で心を寄り添わせたりする中で、新たなアクセントを加え、大きな成果を上げてきました。

特に、イメージキャラクターを創り上げ、全校生徒が自分ごととして取り組んだ、いといかわコットンプロジェクトの生活班—プランター活動などのSDGs活動は、全国的にも類を見ないと、世界規模で活動される「シンク ジ アース」の上田様より高く評価されました。新潟SDGsアワードでも奨励賞を受賞するなど輝かしい成果を上げました。

広島派遣や北方領土現地視察での個人の学びを全校生徒で共有し、全員で平和を願って折上げた千羽鶴と横断幕掲げ、地域にも挨拶運動を通して発信しました。その思いは、能登半島地震の際も、自分たちでもできることとして取り組んだ復興支援募金へと結びついていきました。みなさんの善意は被災者の胸に届いたことでしょう。

本日もこの会場を温めてくれたジェットヒーターや安全防護柵等は、『復興の花 実行委員会』から寄贈いただいたものです。先日贈与式に参加してきました。同実行委員会は、二十名程で活動されていて、平成二十八年に起こった糸魚川大規模火災からの復興と発展を市民目線で考え、翌年から音楽を通じて街に元気と明るさを届けてきました。その実行委員長は、高校一年生で大火を経験し、その後は二十代前半の現在まで、仕事と両立されながら同実行委員会で中心的に活動されています。去年はチケットを完売するほどの音楽イベントを市民会館で行われ、大盛況のうちに終了されました。その収益金のなかから「これからの糸魚川を担う若者たちのために使って欲しい」と市内各中学校に寄贈品を贈っていただきました。残りの収益金も能登半島地震の被災地に届けられたそうです。正に、卒業生が中心となって目指してきた、ふるさと糸魚川を愛し、「自分たちに何ができるか」「自分たちだからこそできること」を糸魚川市という大きな視点で捉え、実行された皆さんの少し先行く先輩の話聞くことが出き、私には、数年後の卒業生の皆さんの姿と重なりました。

自分たちの夢が明確となり、仲間との大切な一時を過ごす休み時間には仲間同士で課題を教え合う姿を幾度も見ました。放課後学習の教室で黙々と勉強する姿もありました。授業中は、タブレットを有効活用して、メリハリのある活発な意見が飛び交う授業態度でした。支え合い、学び合った自己実現への路、多くの知識を身に付けていきました。

皆さんがこの能生中学校で過ごした三年間、仲間と共に培った知識や経験はかけがえのない財産です。能生中を巣立った後にも、この知識や経験は、皆さんの夢の実現の大切な手立てとなることでしょう。この素晴らしい瞬間を忘れずに前に進んでいってください。

能生中学校の活動は、地域の方々に支えられて成り立っています。これからは、地域の先輩として、能生中学校の仲間たちを導いていってください。そして、皆さんが思いを託し、進化し続ける能生中学校の姿を見に来てください。来年度以降、体育祭や音楽祭には、同窓生として、地域住民として元気な姿を見せてください。夢の実現の途中、成長し続ける皆さんに会えることを楽しみにしています。

保護者の皆様、皆様のお子さんたちは、私たちの宝物であり、能生の、糸魚川の希望です。これまでの皆様の愛情と支援の賜です。これからも限りない愛情で卒業生の皆さんを応援してください。この素晴らしい佳き日を皆様と一緒にお祝いできますことを感謝申し上げます。結びに、今日をもって九年間の義務教育を終え、希望に満ち溢れる世界へと歩みだす四十九名の卒業生の皆さんの輝かしい前途に幸多きことをお祈りし、式辞といたします。



能生中ホームページ（能生中トピックス）より

【2年生 修学旅行】

修学旅行実行委員会が決めたスローガンは『Rank Up!』～集学良行に共深心親～です。実り多い2泊3日となることでしょう。ホームページでは旅行中の生徒の元気な姿を随時アップしていきますので、時間がある方は、能生中HPを訪れてください。



2日目 班別研修の午後の様子です。こちらは清水寺です。空はどんよりして見えますが、足元の影をみると、天気もそんなに悪くない様子です。

夜の座禅体験の様子です。「座禅を通して自分を観察し、世界を観察することができる。それによって争いや貧困など人



類の迷いと向かい合うことができる。まさに、世界を自分ごととしてとらえられる一つのきっかけです。」お寺の住職から座禅についてお話しいただきました。これから始まる初めての体験にドキドキしているようです。班別研修の疲れからウトウトしてしまう生徒もいなさそうですね。心地よい緊張感の中、自分と向き合い、観察することができたでしょうか。

2泊3日の関西方面への修学旅行隊が無事に帰着しました。最終見学地のUSJを予定通りに出発したのですが、帰路の高速道路が工事規制のため、予定より30分ほど遅れてしまいましたが、健康観察アプリで事前に連絡していたので、お迎えの方々も混乱なく駐車場に集まってくれました。



留守番隊の教職員が手作りしたお帰り横断幕がバスのテールランプに輝いていました。ピロティでの解散式には、USJのキャラクターさながらの帽子やカチューシャで飾った生徒たちが出迎えの方々に関西の文化を伝えてくれ、笑顔が広がりました。同行いただいた添乗員の方にもお礼をお伝えして温かなムードの中、修学旅行を終えました。両手いっぱいにお土産を持ち、家族と抱き合う生徒の姿が印象的でした。

生徒一人ひとりが、修学旅行スローガン『Rank Up!』～集学良行に共深心親～の実現のために、自分たちをお互いに高め合った3日間。大きく成長してくれました。今後、能生中のリーダーとして迎える学校生活に活かされることでしょう。生徒の皆さん、引率した先生方お疲れさまでした。企画、添乗いただいた旅行会社の皆さん、本当にありがとうございました。そして、早朝からの見送り、遅くまで待っていただいたお迎えの家庭の皆様、本当にありがとうございました。



